

特集

ぎよしよく教育 最前線

愛 南町の基幹産業である水産業を振興しようと平成17年に愛南町で始まった「ぎよしよく教育」。愛南町ぎよしよく普及推進協議会（竹田英則^{ひでおのり}会長）が行う愛南発のこの取組が、いま全国から注目を浴びています。

町と漁協、そして大学の産学官が連携し、地域ぐるみで実践されている「ぎよしよく教育」の最前線をお届けします。

ぎよしよく普及戦隊

愛南ぎよレンジャー

愛南町の魚介類を多くの人達に知ってもらい、美味しく食べてもらうために活動する水産キャラクター。南宇和高校美術部がその活躍を描く四コマ漫画は、広報あいなんに毎月掲載中。



ぎょしょく教育 7つのコンセプト

- 1 「魚触」
魚に触れる学習体験
- 2 「魚色」
魚の種類や栄養など
魚自体に関する学習
- 3 「魚職」
獲る漁業を知る学習
- 4 「魚殖」
育てる漁業を知る学習
- 5 「魚飾」
魚文化の学習
- 6 「魚植」
魚をめぐる環境を知る学習
- 7 「魚食」
魚の味を知る学習

表紙の写真

将来の得意料理!?

11月8日に柏小学校で行われたぎょしょく教育の出前授業。5、6年生が愛南産の真鯛を使い、あらかじめ調べたレシピに沿って、あんかけや塩焼き、うしお汁を作りました。



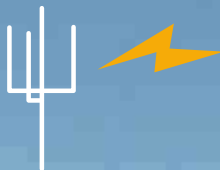
【ぎょしょく教育】

魚にまつわる諸事情を細かく、体系的に学習し、水産物と地域を理解する新しい教育。平成17年に愛媛大学が提唱し、水産版の食育コンセプトとして作り上げました。愛南町では、従来の魚離れ対策の「魚食」とは一線を画し、あえて「ぎょしょく」とひらがなで表記することで、魚の生産から消費・文化まで幅広い意味を持たせて各種の普及活動を展開しています。



遠隔ぎょしょく授業の仕組み

イーネット・ワイヤレス
㈱愛媛CATV 提供



出荷の様子を生産者
自らがスマホを使ってリポート



学校の大型テレビに
届いた水産現場の様子



遠隔ぎょしょく授業を受ける城辺小学校5年生の児童

産地・教室・人と人 ぎょしょく教育が結ぶ

特集

ぎょしょく教育最前線

養殖場を教室に

「今日は、皆さんに真鯛の出荷の様子を見てもらいます」。

有限会社安高水産の宮本正博まさひろ出荷チームリーダーが、ぎょしょく教育の出前授業を受ける城辺小学校の5年生の児童に呼びかけました。

児童が目を輝かせてのぞき込むのは、出荷場ではなく、多目的教室の大型テレビ。モニターには、学校からおおよそ2 km離れた出荷場にいる宮本さんがスマートフォンで撮影したライブ映像が映し出されています。宮本さんは自らが現地リポーターとなつて、出荷の流れを説明。真鯛が次々と仕分けられる様子が映し出されると子どもたち



お食い初め用
真鯛をプレゼントします

タイレッド

愛南町ぎょしょく普及推進協議会では、子育てを応援しようとして出生したお子様がいる町民の保護者に「お食い初め」お祝い真鯛をプレゼントしています。

詳しくは、協議会事務局までお問い合わせください。【TEL 82-1376】



ぎょしょく浸透
残食少なく

城辺中学校
原田光香 栄養教諭



愛南町の学校給食は、地元で獲れるイワシやキビナゴなど小魚が多く出ますが、そこでの残食が少ないのは、地元の魚を美味しくいただくことをぎょしょく教育で学んでいるからだと思います。

愛南町にいると「ぎょしょく」は当たり前を感じるかもしれませんが、そのありがたさは実は卒業後に地元を離れたときにわかるのかもしれません。ぎょしょく教育を受けた子どもたちが、地元のすばらしさに気づいて、将来、愛南町を支える人材になってほしいと思います。



愛南町ぎょしょく普及推進協議会
竹田 英則 会長

平成21年度から愛南町ぎょしょく普及推進協議会会長として、姉妹都市である篠山市をはじめ、全国各地で出前授業を実践している。久良漁業協同組合代表理事組合長。全国海水養魚協会、県魚類養殖協議会、県漁業共済組合で要職を務める。多方面で水産業振興に尽力した功績が評価され、平成30年度大日本水産会水産功績者表彰を受賞した。

ら歓声が上がりました。これは、愛南町ぎょしょく普及推進協議会が、株式会社愛媛CATVの協力を得て、昨年から本格的に行っている遠隔ぎょしょく授業の一場面。水産業の現場を学校の教室に届ける新しい取組です。

遠隔授業は、高速無線通信サービス「イーネット・ワイヤレス」を使ってスカイプ（インターネット電話サービス）で教室と現場を結びます。城辺小学校では、この遠隔授業を事前学習に位置づけ、後日、実際に安高水産の養殖場を訪れることで、学習の定着を図っています。

リアルタイムに沖の養殖場を結び、生産者自らが子どもたちの「知りたい」に応えることで、子どもたちは海の仕事やそこで養殖された真鯛をより身近に感じることができるようになります。

「食べたい」と言っていて、その場で食べてくれるようになり、それがすぐに水産物の消費拡大につながるわけではないけれど、魚を食べるきっかけ作りとしては、出前授業の意味は大きい」と話します。

全国に先駆けて愛南町が始まったぎょしょく教育。平成21年度から協議会の会長を務める竹田英則氏は、「今では、全国の市や町で同じような取組ができてきたが、それはぎょしょく教育が広がったことでもあり、歓迎しています」と語ります。

自身も全国各地に出向いて出前授業を行う竹田会長は、「子どもたちの目の前でブリをさばいて料理を作ると、今まで魚が食べられなかったという子どもが、『食べたい』と言って、その場で食べてくれるようになり、それがすぐに水産物の消費拡大につながるわけではないけれど、魚を食べるきっかけ作りとしては、出前授業の意味は大きい」と話します。

「食べたい」と言っていて、その場で食べてくれるようになり、それがすぐに水産物の消費拡大につながるわけではないけれど、魚を食べるきっかけ作りとしては、出前授業の意味は大きい」と話します。

ぎょしょくの効果



「魚触」コーナーでシュモクザメを持ち上げて笑顔を見せる野村町の園児

被災地へ届ける ぎょしょく教育

産地と教室がつながるとき、そこにはいつも笑顔があります。

ぎょしょく教育の出前授業は平成30年7月豪雨で被災した西予市野村町でも開催されました。

豪雨災害で被災し、児童館の2階に仮設されている野村保育所からは3歳から5歳の園児53人が参加。本物の魚を触る「魚触」コーナーには、その日、市場に揚がったブリやタチウオ、シュモクザメなどが用意され、園児は触ったり、持ち上げたりして、歓声を上げました。会場の野村小学校体育館には、子ど



愛南町ぎょしょく普及推進協議会と西予市役所復興支援課野村復興支援室が連携して、被災した西予市野村町でぎょしょく出前授業を行いました

もたちの笑い声が響き、それを見守る保育士さんや野村支所復興支援室の職員の皆さんにも笑顔が広がりました。

野村保育所の宇都宮恵子^{けいこ}所長は、「ぎょしょく教育を体験して、子どもたちには海や魚が身近になりました。お魚を食べて復興、復活の力にしていきたい」と力強く語りました。

地域と学校 ぎょしょくが結ぶ

ぎょしょく教育は、地域と学校を強く結びつけます。

10月24日、来年3月で閉校することが決まっている東海小学校で、最後のぎょしょく出前授業が行われていました。

この日は、9人の全校児童が愛南漁業協同組合女性部や協議会のメンバーらと料理を作つて、学校関係者や地元の方、約50人と共に味わうぎょしょく授業です。女性部部長の宇佐久子^{ひさこ}さんは、「東海小学校が閉校することは寂しいが、今日はこの時間を有意義に過ごしたい」と



鯛の塩釜焼きを作るため卵白を混ぜた粗塩で真鯛を包む児童



タイレッド

愛南町は養殖真鯛の出荷量が市町村別で全国2位。真鯛の一大産地になっているんだよ。

話しました。
児童と女性部は協力して、鯛の塩釜焼きやブリ大根など、旬の魚を使った9種類の料理を作り上げました。
会食を終えた児童は「魚料理は苦手だけど、今回食べた料理はみんな美味しかった」と嬉しそうに話しました。
同校の清水二十志校長は、「愛南の食文化を受け継いでいってくれる児童がぎょしよく教育で育っています。子どもたちは、今日のことを、絶対忘れないと思います」と力強く締めくくりました。



愛南漁協女性部の皆さんと一緒に調理する児童。愛南産のひじきを使ったひきじチョコフレークは、子どもにも大人にも大人気でした



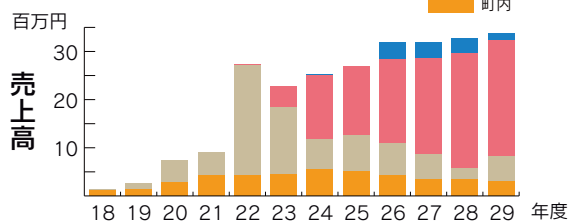
東海小学校で行われた最後のぎょしよく出前授業。愛南産の魚介を使った料理を作り、地元の方と一緒に味わいました

進化続ける ぎょしよく教育

平成17年から始まったぎょしよく教育の多角的な実践は、学校の授業を中心に平成29年には町内で2118人、町外で5143人が受講しています。これは年々増加の傾向にあり、平成22年度からは東京都とぎょしよく普及交流事業を行って、東京都の小学校でも町職員や漁業者がぎょしよく教育の出前授業を実践してきました。ぎょ

しよく出前授業を行うことで、愛南町の水産物が学校給食に使用されるようになり、経済的な効果も大きくなっています。
「ぎょしよく教育は息の長い事業。少しずつ変化を加えながら、これからも続けたい」という竹田会長。出前授業を軸にした展開でこれからは愛南町の食文化を伝えていく一方、ICTを取り入れた遠隔授業で、産地の今を届けながら、水産物の消費拡大を目指します。
ぎょしよく教育が発祥の地で進化を続けています。

愛南漁業協同組合 学校給食食材販売実績



第9回愛南町水産フォーラム ぜひご参加ください!

全国に広がる愛南発「ぎょしよく教育」
～「ぎょしよく教育」の実績評価とこれから～

- ▶日時 12月15日(土) 14時～
- ▶場所 御荘文化センター

愛南町公式ホームページ

愛南町 水産フォーラム 🔍 検索



問：水産課 TEL：72-7312